

守口市立東小学校・大久保小学校
の統合実施計画

平成27年2月
守口市教育委員会

守口市立東小学校・大久保小学校の統合実施計画

目次

第1 守口市における学校統合の背景	1
第2 東小学校と大久保小学校の統合について	1
第3 統合校の学校づくりについて	2
第4 東小学校と大久保小学校の沿革	3
第5 小学校の現状と統合の目的	
1 小学校の現状	4
2 小学校統合の目的	5
第6 小学校統合の具体的内容	
1 学校の設置場所	6
2 学校の統合と供用開始時期	8
3 学校の通学区域	8
4 東小学校・大久保小学校統合新設校の特色ある学校づくり	8
5 施設整備スケジュール	8
第7 計画実施にあたり	8
【参考資料】	
・守口市立東小学校 配置図	9
・守口市立大久保小学校 配置図	10

第1 守口市における学校統合の背景

守口市立小学校の児童総数は、全国的な少子化の進行と同様に昭和53年の20,166人をピークに平成26年には6,857人にまで減少しています。また、市立中学校の生徒総数も昭和57年の9,235人をピークに平成26年には3,663人にまで減少し、小学校の児童数はピーク時の35%、中学校の生徒数はピーク時の40%程度となっています。

学校の小規模化が教育環境に大きな影響を及ぼすことから、教育委員会は平成13年6月に「守口市新しい学校・園づくり審議会」（以下「審議会」という。）に「子どもたちにとって望ましい教育環境を整備し、学校教育の充実を図ることを目的とした学校の規模適正化の具体的方策について」を諮問し、平成14年2月に「より良い学習環境創造のための新しい学校・園(教育システム)づくりについて(答申)」（以下「第一次答申」という。）を受けました。第一次答申を踏まえ同年12月に「学校規模の適正化等に係る基本方針」を策定し、平成18年4月に旧土居小学校を守口小学校に、旧藤田中学校を梶中学校に統合しました。

その後も一部の地域でさらに学校の小規模化が進んだため、教育委員会は平成22年2月に「小規模校のあり方について」と「小中一貫教育など新たな学校(教育システム)づくりについて」を審議会に諮問し、平成23年2月に「新しい学校・園づくり審議会(答申)」（以下「第二次答申」という。）を受けました。第二次答申を踏まえ、平成24年3月に小・中学校のより良い教育環境づくりを進めるため、小規模化する学校の規模適正化への基本的な考え方を示すとともに、学校施設の老朽化等への対策も含めた学校の適正配置についての考え方をまとめた「守口市学校規模等適正化基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定しました。

基本方針については、平成24年4月から、関係する小中学校区の学校、保護者及び地域の方々に対し、説明会を開催し、理解を求めました。その結果、平成26年度に、旧滝井小学校と旧春日小学校が統合し、平成28年度には、統合小学校と第三中学校の施設一体型の小中一貫校が開校することとなりました。また、平成27年度に第二中学校と第四中学校、平成30年度に寺方小学校と南小学校が統合し、新設校として開校することとなっています。

第2 東小学校と大久保小学校の統合について

教育委員会は、平成24年度に保護者と地域の方々を対象とし、基本方針の説明会を実施し、意見交換を行いました。それらを踏まえ、平成26年度に東小学校と大久保小学校の統合の方針について説明会を実施しました。

その後、平成26年12月に学校、保護者及び地域の方々で構成された東小学校・大久保小学校統合校連絡会(以下「統合校連絡会」という。)が発足され、統合校の新校舎設置場所、統合時期等についての意見を集約し、教育委員会に提言していただきました。

第3 統合校の学校づくりについて

学校は、児童生徒の学びの場であると同時に、地域活動や地域防災の拠点でもあります。統合により豊かな教育環境を整備するにあたっては、こうした二つの性格を共に発展させた学校づくりを進めていくことが必要です。

統合した学校では、校舎の建替えや大規模改修により整備された施設の中で、児童は多くの仲間と学校生活を送り、協調性等の社会性を伸ばすことができます。また、友達との切磋琢磨の中で向上心を育て、多様な意見を交流させることによって学びを深めることもできます。

また、統合した学校は、地域に根ざした学校としての性格をより強めていくことが必要です。地域住民が活用しやすいような施設の整備や災害時の避難所としての役割も求められます。

このような点を踏まえ、教育委員会は、統合し、新設される学校の基本コンセプトを次のように定め、学校づくりを進めています。

夢と志を育む学校づくり

子どもの学びをつなぎ一人ひとりの可能性を引き出す施設づくり
ユニバーサルデザインを重視し、一人ひとりの学びを支える施設づくり
健やかな身体を育む学校づくり

安全に配慮した学校づくり

子どもたちが安全で安心な学校生活を送ることができるよう配慮した施設づくり

地域とつながる学校づくり

学校と地域の連携を深め、教育活動を支える地域人材が集うことができる施設づくり
地域活動など、将来にわたり有効活用できる施設づくり

環境への配慮

緑化の推進など、周囲の環境に配慮した施設づくり
自然エネルギーの活用、省エネルギー対策など環境負荷に配慮した施設づくり

地域の防災拠点

地域の防災拠点としての役割を担うことができるよう、災害時の対応に配慮した施設づくり

第4 東小学校と大久保小学校の沿革

【東小学校の沿革】

- 昭和 37 年 庭窪小学校から分離し、仮称「庭窪東小学校」として開校し、7月に校名が東小学校と決定
- 昭和 38 年 教室棟（棟番号⑧ 1,279 m²）を新築・現在の敷地へ移転
- 昭和 39 年 教室棟（棟番号⑬ 842 m²）を新築
- 昭和 41 年 管理教室棟（棟番号⑩－1 567 m²）及び屋内運動場（棟番号⑩－2 679 m²）を新築
- 昭和 43 年 教室棟（棟番号⑪棟 1,940 m²）を新築
- 昭和 44 年 梶小学校・金田小学校へ分離
- 昭和 45 年 教室棟 2 棟（棟番号⑨－1 872 m²、棟番号⑭ 546 m²）及び便所棟（棟番号⑨－2 270 m²）を新築
- 昭和 46 年 大久保小学校・藤田小学校へ分離
- 昭和 47 年 プールを新築
- 昭和 52 年 教室棟（棟番号⑳ 666 m²）及び給食棟（棟番号㉔ 258 m²）を新築
- 平成 3 年 郷土資料館を設置
- 平成 23 年 創立 50 周年

【大久保小学校の沿革】

- 昭和 46 年 東小学校から分離し、大久保小学校として開校・管理教室棟（棟番号①－1 4,176 m²）、特別教室棟（棟番号②－1 693 m²）、屋内運動場（棟番号②－2 839 m²）及び給食棟（棟番号④ 245 m²）を新築・現在の敷地へ移転
- 昭和 49 年 教室棟（棟番号①－2 798 m²）を新築
- 昭和 55 年 教室棟（棟番号①－3 419 m²）を新築
- 昭和 63 年 プールを新築
- 平成 22 年 創立 40 周年

※棟番号を記載しているものは既存の建物で、記載していないものは解体された建物である

第5 小学校の現状と統合の目的

1 小学校の現状

(1) 児童数と学級数について

ア 小学校の児童数・学級数の現状

平成26年5月1日現在で東小学校の児童数は300名(内、支援学級児童14名)、学級数は11学級と支援学級4学級を合わせた15学級です。また、大久保小学校の児童数は409名(内、支援学級児童17名)、学級数は12学級と支援学級5学級を合わせた17学級です。

・現状の児童数と学級数

学年	東小学校		大久保小学校	
	児童数	学級数	児童数	学級数
1年生	44 (1)	2	60 (2)	2
2年生	40 (2)	2	61 (5)	2
3年生	41 (2)	1	77 (3)	2
4年生	51 (2)	2	66 (3)	2
5年生	71 (3)	2	72 (1)	2
6年生	53 (4)	2	73 (3)	2
合計	300(14)	11	409 (17)	12
支援学級	14	4	17	5

※児童数欄()内は支援学級児童数の再掲を表す

イ 小学校の児童数・学級数の今後の推移

小学校の児童数・学級数の現状学級数は、推計によると今後は減少していき、平成32年度の東小学校の学級数は11学級と支援学級を合わせた学級数、大久保小学校の学級数も12学級と支援学級を合わせた学級数となります。

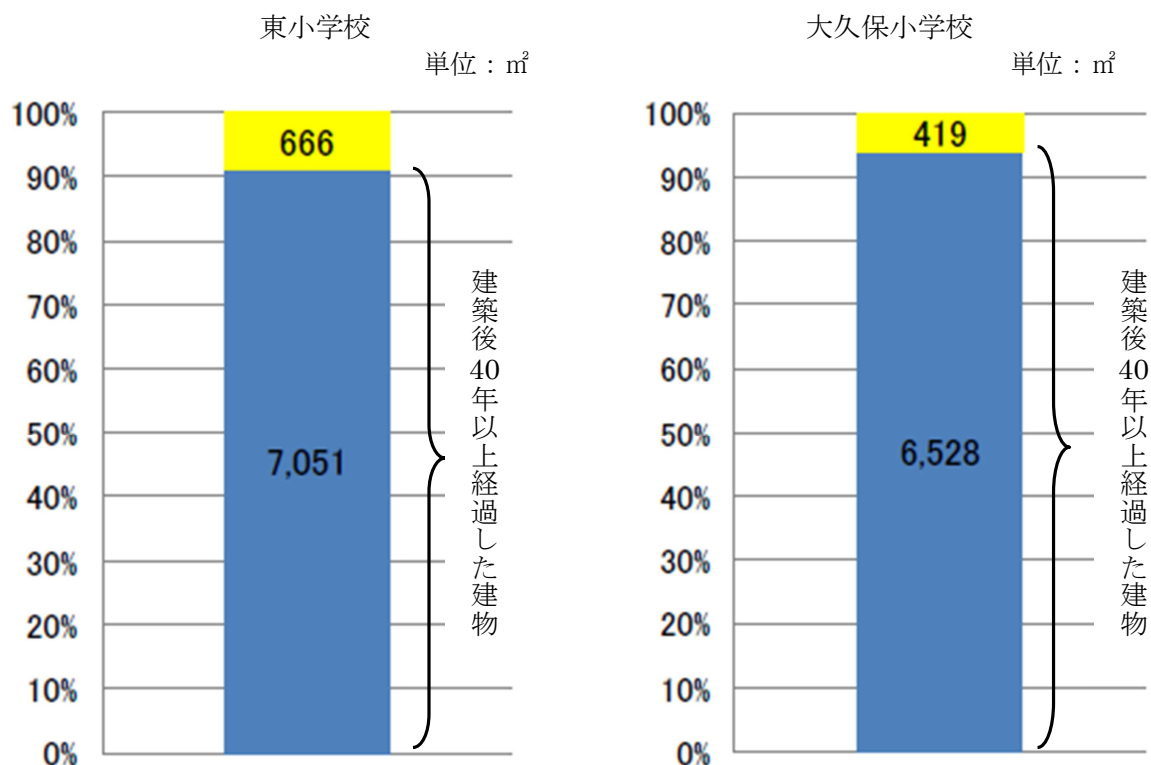
・今後の児童数の予測推移(平成26年5月1日現在)

	平成26年度	平成30年度	平成32年度
東小学校	300(11学級+4学級)	267(10学級+支援学級)	260(11学級+支援学級)
大久保小学校	409(12学級+5学級)	331(12学級+支援学級)	313(12学級+支援学級)

※学級数については、1・2年生は1学級あたり35人、3～6年生は1学級あたり40人を基準に、各学年の児童数から算出した数字である。

(2) 小学校の施設について

両校のすべての施設は建築後 30 年以上で、東小学校は、建物面積の約 91%が建築後 40 年以上経過し、大久保小学校も建物面積の約 94%が建築後 40 年以上経過しています。



・小学校の施設建築年数 平成 26 年度時点

	建築後の経過年数
東小学校	建物面積の約91%が建築後40年以上経過している。
大久保小学校	建物面積の約94%が建築後40年以上経過している。

2 小学校統合の目的

教育委員会は、校舎の老朽化が進み、同一中学校区で学校間の距離が非常に近く、統合後 24 学級を超えず、子どもたちに過度の負担がかからないと予測される場合には、より良い教育環境の整備を図ります。

現在、東小学校は準適正規模校であり、大久保小学校は適正規模校であるが、両校とも児童数は減少傾向にあることに加え、校舎の老朽化が進んでいます。また、大久保中学校区にある両小学校の距離は 350m と隣接しており、統合後においても児童に過度の負担はかからないと考えます。これらのことから、東小学校と大久保小学校を統合します。

(1) 適正規模の基準

守口市の適正規模は、第一次答申をもとに平成14年12月に策定した「学校規模の適正化等に係る基本方針」の基準に、第二次答申で示されたクラス替えできる規模がより望ましいと考えます。

・守口市学校規模適正化基準

	小規模校	適正規模を下回る 準適正規模校	適正規模校	適正規模を上回る 準適正規模校
小学校	8学級以下	9～11学級	12～18学級	19～24学級
中学校				19～21学級

(2) 小学校統合の方法

小学校統合の方法は、基本方針を踏まえ、地域全体で児童生徒を支え、地域の歴史・文化等を考慮する観点から、同一中学校区内の小学校同士を統合することが望ましいと考えます。

・統合後の児童数の予測推移(平成26年5月1日現在)

	平成30年度	平成32年度
東小学校・大久保小学校の統合校	598(18学級+支援学級)	573(18学級+支援学級)

※学級数については、1・2年生は1学級あたり35人、3～6年生は1学級あたり40人を基準に、各学年の児童数から算出した数字である。

第6 小学校統合の具体的内容

1 学校の設置場所

(1) 検討について

学校の設置場所については、通学距離、学校配置及び用地面積の3点を指標とし、東小学校、大久保小学校を比較し、検討します。

ア 通学距離

東小学校を学校設置場所とすると、最も遠い所からの通学距離は、1,100mとなります。
大久保小学校を学校設置場所とすると、最も遠い所からの通学距離は、950mとなります。
大久保小学校を学校設置場所とすると、通学距離は最長でも1km以内で、児童の負担が少ないといえます。

イ 学校配置

学校配置としては、両小学校は統合校区中央に位置しています。

ウ 用地面積

用地面積を比較した場合、東小学校が13,771㎡、大久保小学校が14,611㎡と大久保小学校の方が約1,000㎡大きくなっています。

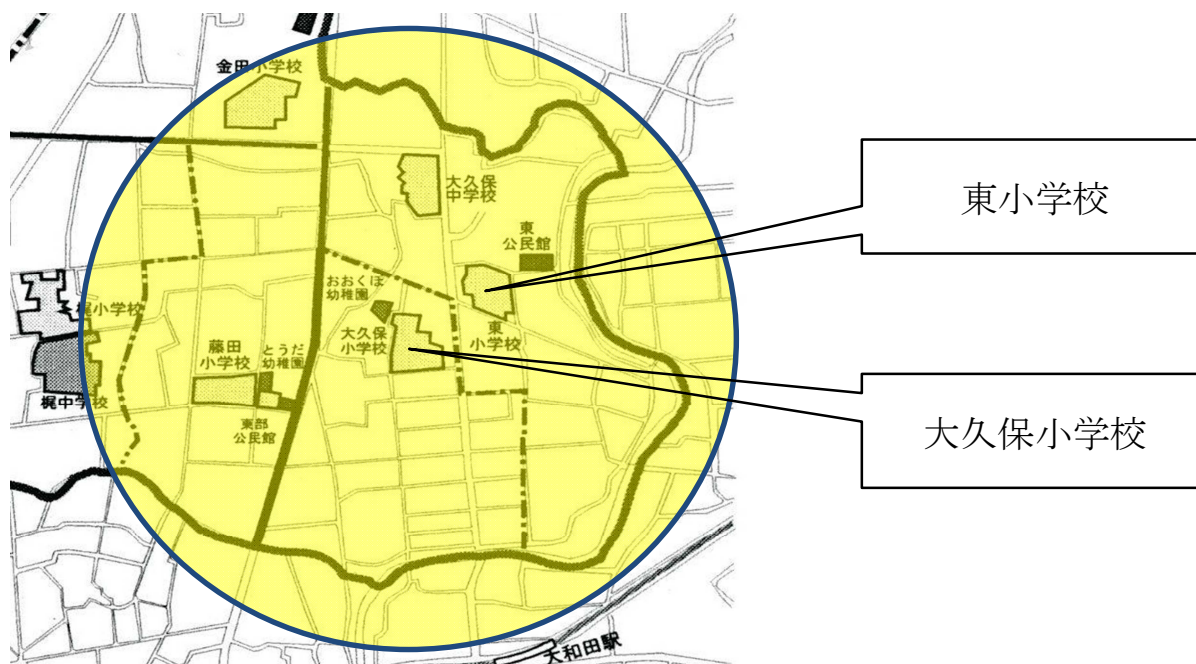
(2) 検討結果

教育委員会は、統合校連絡会からの提言内容を踏まえ検討した結果、通学距離の偏りが少ないなど総合的な観点から、大久保小学校用地を統合校の設置場所とします。

・候補地からの通学距離比較表

	東小学校を統合場所	大久保小学校を統合場所
大久保4丁目	900m	950m
大久保5丁目	700m	950m
藤田町3丁目	1,100m	750m
藤田町6丁目	800m	800m

・学校配置



・候補地の面積の比較表

学校名	東小学校	大久保小学校
全体用地面積(㎡)	13,771	14,611

2 学校の統合と供用開始時期

平成28年4月に東小学校と大久保小学校を統合し、現在の東小学校を仮校舎として開校します。大久保小学校用地において新校舎を建設し、平成30年4月に供用開始するものとします。

3 学校の通学区域

学校の通学区域については、基本方針に基づき、校区を分割し隣接校区に編入するのではなく、校区全体を統合することとします。

4 東小学校・大久保小学校統合新設校の特色ある学校づくり

教育委員会は、学校づくりにあたり、守口市の新しい学校づくりに共通する基本コンセプトと統合校連絡会からの新設校の学校コンセプトに関する意見を踏まえ、東小学校・大久保小学校の統合校を特色ある学校になるよう進めていきます。

5 施設整備スケジュール

施設整備に関しては、学校、保護者及び地域の方々の意見を踏まえながら、設計を進めていきます。

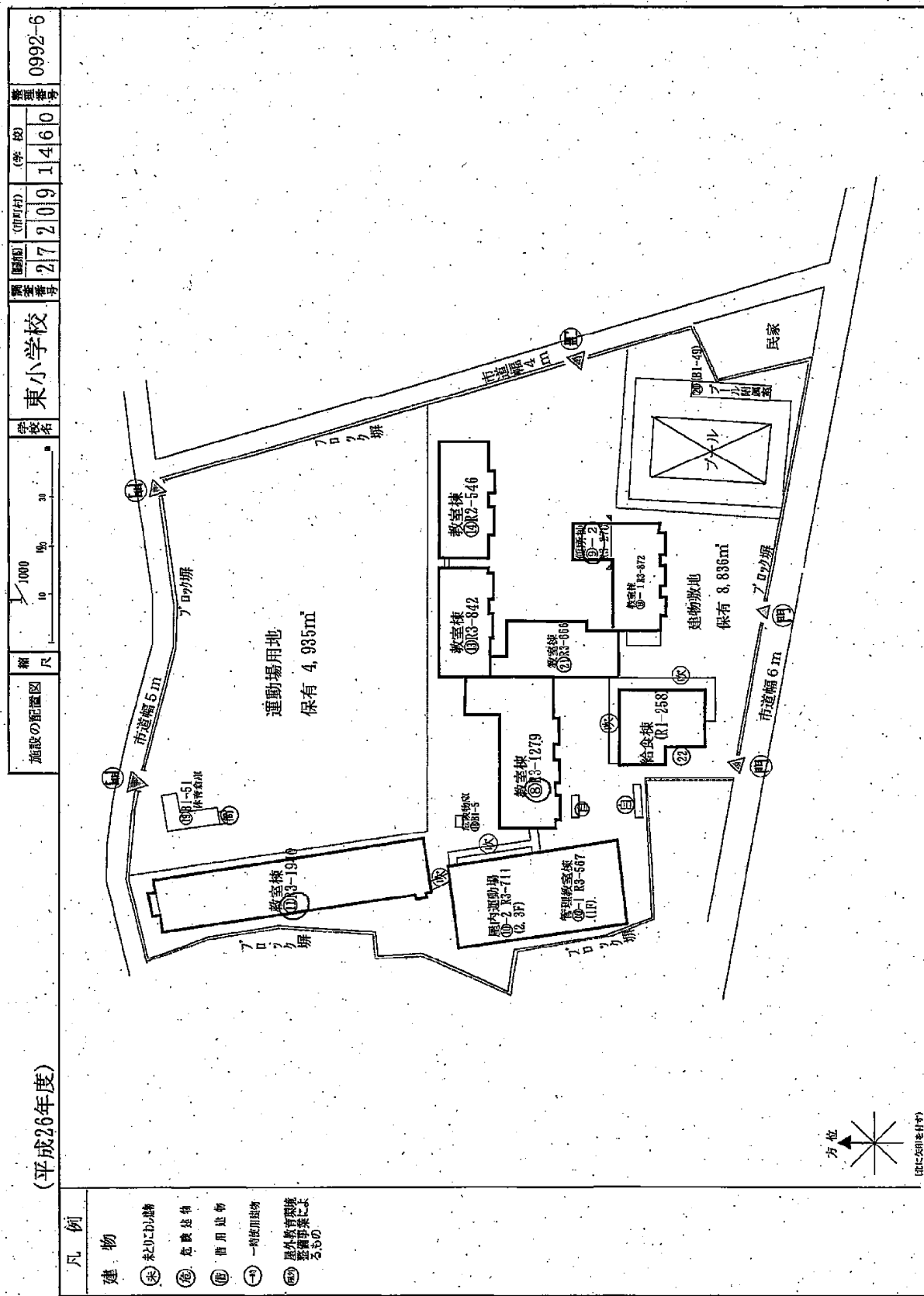
・新校舎供用開始までの設計・建設スケジュール予定

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	—	基本設計 実施設計	実施設計 既存校舎解体 建設	建設	新校舎 供用開始

第7 計画実施にあたり

教育委員会は、計画の実施にあたり諸課題について検討を行い、より良い学習環境の整備を早期に実現することを目指し、円滑に統合できるよう努めます。併せて、学校、保護者及び地域の方々の意見を踏まえながら、魅力的な学校づくりを進めるとともに、進捗状況等を情報発信しながら、統合・新校舎建設を進めていきます。

【参考資料】 守口市立東小学校 配置図



文部科学省

【参考資料】 守口市立大久保小学校 配置図

